

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方① 11 漢字の意味・使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 会計事務所・企業研究① 11 会計事務所・企業研究① 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経理職に適したスーツの着こなし 2 経理職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 経理職で良く聞かれる質疑応答① 5 経理職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは(一般常識試験)① 7 筆記試験とは(一般常識試験)② 8 筆記試験とは(適性検査試験)① 9 筆記試験とは(適性検査試験)② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務応用 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	経理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 経理職職種研究① 7 経理職職種研究② 8 経理職職種研究③ 9 経理職職種研究④ 10 経理職職種研究⑤ 11 経理職への志望理由① 12 経理職への志望理由② 13 経理職への志望理由③ 14 経理職への志望理由④ 15 経理職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	会計士キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択履修必須
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務におけるつながりを理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	会計・監査の業務についての理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計士になるために 1 会計士の仕事内容と試験制度概要 2 会計士になるために 2 試験制度の仕組みと学習プラン 3 会計士になるために 3 授業内容と授業心得 4 会計士になるために 4 短答式試験受験の心構え 5 監査法人理解 1 仕事内容（概要） 6 監査法人理解 2 試験勉強と監査法人業務 7 将来像を考える 1 法人の仕組み（スタッフの仕事理解） 8 将来像を考える 2 法人の仕組み（監査業務内容理解） 9 会計士になるために 5 学習プランの再確認 10 会計士になるために 6 論文式試験の学習内容理解 11 将来像を考える 3 監査法人以外の進路について 12 就職準備 1（ESの書き方） 13 就職準備 2（監査法人の調べ方） 14 就職準備 3（よくある質問対策） 15 会計士になるために 7 論文式試験受験の心構え
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記入門Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原則の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的(基礎編) 2 簿記一巡(基礎編) 3 商品売買Ⅰ(基礎編) 4 商品売買Ⅱ(基礎編) 5 決算整理(基礎編) 6 精算表(基礎編) 7 現金および預金(基礎編) 8 手形(基礎編) 9 有形固定資産の決算整理(基礎編) 10 その他の債権および債務(基礎編) 11 その他の勘定および訂正仕訳(基礎編) 12 有形固定資産の決算整理(基礎編) 13 費用および収益の決算整理(基礎編) 14 株式会社の純資産(基礎編) 15 英米式決算法(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎 I
実務家教員	○
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 単位時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記一巡の手続きと財務諸表(基礎編) 2 現金預金(基礎編) 3 債権・債務(基礎編) 4 棚卸資産(基礎編) 5 有価証券①(基礎編) 6 有価証券②(基礎編) 7 固定資産①(基礎編) 8 固定資産②(基礎編) 9 固定資産③(基礎編) 10 固定資産④(基礎編) 11 債務保証(基礎編) 12 引当金(基礎編) 13 収益と費用(基礎編) 14 為替換算会計(基礎編) 15 株式会社の純資産(基礎編) 16 企業結合(基礎編) 17 確認テスト(第1回) 18 税金①(基礎編) 19 税金②(基礎編) 20 伝票と帳簿(基礎編) 21 決算①(基礎編) 22 決算②(基礎編) 23 本支店会計①(基礎編) 24 本支店会計②(基礎編) 25 連結会計①(基礎編) 26 連結会計②(基礎編) 27 連結会計③(基礎編) 28 連結会計④(基礎編) 29 連結会計⑤(基礎編) 30 確認テスト(第2回)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎 I
実務家教員	○
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 単位時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎(基礎編) 2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系(基礎編) 3 材料費会計(基礎編) 4 労務費会計(基礎編) 5 経費会計(基礎編) 6 製造間接費会計(基礎編) 7 製造間接費差異の原因別分析(基礎編) 8 単純個別原価計算(基礎編) 9 工企業の財務諸表(基礎編) 10 確認テスト(第1回) 11 部門別計算①(基礎編) 12 部門別計算②(基礎編) 13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系(基礎編) 14 単純総合原価計算(基礎編) 15 工程別総合原価計算(基礎編) 16 組別総合原価計算(基礎編) 17 等級別総合原価計算(基礎編) 18 減損および仕損(基礎編) 19 標準原価計算①(基礎編) 20 標準原価計算②(基礎編) 21 標準原価計算③(基礎編) 22 CVP分析①(基礎編) 23 CVP分析②(基礎編) 24 直接原価計算(基礎編) 25 工業簿記総まとめ①(基礎編) 26 工業簿記総まとめ②(基礎編) 27 工業簿記総まとめ③(基礎編) 28 工業簿記総まとめ④(基礎編) 29 工業簿記総まとめ⑤(基礎編) 30 確認テスト(第2回)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合 I
実務家教員	○
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90 単位時間
授業コマ数	45 コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(基礎編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(基礎編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(基礎編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ④(基礎編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(基礎編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(基礎編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_基礎編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_基礎編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_基礎編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_基礎編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_基礎編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_基礎編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_基礎編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_基礎編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_基礎編) 28 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 29 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 30 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 31 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 32 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品売買総論 2 商品売買の記帳方法 3 商品有高帳の記帳 4 返品・値引・割戻の処理 5 割引の処理 6 原価率等 7 仕入諸掛り・販売諸掛りの処理 8 他勘定振替高 9 棚卸資産の範囲 10 棚卸資産の期末評価 11 棚卸減耗損 12 商品評価損 13 売価還元法 14 トレーディング目的で保有する棚卸資産 15 巻末総合問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 管理会計論総論 2 管理会計論の範囲 3 原価計算の本質・意義 4 原価計算の基本思考 5 原価計算の目的 6 費目別計算総論 7 原価の分類 8 材料費の計算 9 材料費の分類 10 労務費の計算 11 労務費の計算 12 経費の計算 13 経費の分類 14 製造間接費の計算 15 製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金 2 当座預金 3 割引現在価値の概要 4 現価係数 5 年金現価係数 6 売掛金・買掛金 7 その他の債権・債務 8 前払費用 9 未払費用 10 前受収益 11 未収収益 12 手形総論 13 約束手形 14 為替手形と偶発債務 15 手形の裏書譲渡 16 手形の割引 17 不渡手形 18 手形の更改 19 営業外手形 20 金融手形(手形借入金・手形貸付金) 21 売上債権に含まれる金利部分の会計処理 22 貸倒損失 23 貸倒引当金の設定 24 貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し 25 貸倒れ処理済債権の回収 26 手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入 27 相殺適状 28 貸倒見積高の算定(一般債権) 29 貸倒見積高の算定(貸倒懸念債権) 30 貸倒見積高の算定(破産更生債権等)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計の意義 2 資本循環と財務諸表 3 財務会計と管理会計 4 会計責任説と利害調整機能 5 意思決定有用性説と情報提供機能 6 利益の性格と財務会計の機能 7 会社法会計 8 金融商品取引法会計 9 単体開示の簡素化 10 企業会計原則 11 企業会計基準 12 会計基準の国際的コンバージェンス 13 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い 14 米国基準の任意適用 15 原則主義と細則主義
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 配賦基準 2 製造間接費の実際配賦 3 製造間接費の予定配賦 4 製造間接費予算 5 配賦差異の算定 6 固定予算 7 公式法変動予算 8 実査法変動予算 9 部門別計算の意義・目的 10 原価部門の設定 11 実際配賦(第1次集計) 12 実際配賦(第2次集計) 13 実際配賦(第3次集計) 14 予定配賦 15 予定配賦率の算定・予定配賦額の算定 16 製造部門費配賦差異の算定 17 補助部門費の配賦 18 配賦基準(単一基準配賦法) 19 配賦基準(複数基準配賦法) 20 配賦金額(実際発生額) 21 配賦金額(予定配賦額) 22 配賦金額(予算許容額) 23 個別原価計算総論 24 製造指図書と原価計算表 25 完成品原価と月末仕掛品原価の区分 26 単純個別原価計算 27 ロット別個別原価計算 28 部門別個別原価計算の意義 29 個別原価計算における仕損の処理① 30 個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 単位時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個人企業と共同作業 2 会社の概念 3 法人性に関する諸問題 4 4種類の会社 5 株式会社の分類 6 株式会社の本質的特徴 7 株主有限責任の原則から導かれる資本制度 8 本質的特徴から導かれる重要な制度 9 会社設立に関する立法主義 10 株式会社の設立手続きの流れ 11 株式会社の設立の方法 12 発起人の意義 13 発起人の資格 14 発起人の数 15 定款の意義 16 定款の作成 17 定款の記載・記録事項 18 定款の備置き、閲覧・謄写 19 発起設立 20 募集設立 21 設立登記の手続き 22 設立登記の効力 23 変態設立事項に関する規制（規制の概要） 24 変態設立事項に関する規制（現物出資） 25 変態設立事項に関する規制（財産引受け） 26 変態設立事項に関する規制（発起人の報酬） 27 変態設立事項に関する規制（設立費用） 28 設立無効の意義 29 設立無効原因 30 設立無効の訴えの制度
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査とは 2 監査の分類 3 公認会計士の監査領域 4 財務諸表の監査の必要性 5 財務諸表の監査の機能 6 監査の固有の限界 7 二重責任の原則 8 財務諸表の作成責任 9 財務諸表の作成基準 10 監査人 11 監査業務の一年の流れ 12 財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠 13 監査手続き(監査技術) 14 リスク・アプローチ 15 リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題(初級編)① 5 個別基礎問題(初級編)② 6 個別基礎問題(初級編)③ 7 個別基礎問題(初級編)④ 8 個別基礎問題(初級編)⑤ 9 個別基礎問題(初級編)⑥ 10 個別基礎問題(初級編)⑦ 11 個別基礎問題(初級編)⑧ 12 個別基礎問題(初級編)⑨ 13 個別基礎問題(初級編)⑩ 14 個別基礎問題(初級編)⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題(初級編)① 2 計算基礎問題(初級編)② 3 計算基礎問題(初級編)③ 4 計算基礎問題(初級編)④ 5 計算基礎問題(初級編)⑤ 6 計算基礎問題(初級編)⑥ 7 計算基礎問題(初級編)⑦ 8 計算基礎問題(初級編)⑧ 9 計算基礎問題(初級編)⑨ 10 計算基礎問題(初級編)⑩ 11 計算基礎問題(初級編)⑪ 12 計算基礎問題(初級編)⑫ 13 計算基礎問題(初級編)⑬ 14 計算基礎問題(初級編)⑭ 15 計算基礎問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題(初級編)① 2 計算基礎問題(初級編)② 3 計算基礎問題(初級編)③ 4 計算基礎問題(初級編)④ 5 計算基礎問題(初級編)⑤ 6 計算基礎問題(初級編)⑥ 7 計算基礎問題(初級編)⑦ 8 計算基礎問題(初級編)⑧ 9 計算基礎問題(初級編)⑨ 10 計算基礎問題(初級編)⑩ 11 計算基礎問題(初級編)⑪ 12 計算基礎問題(初級編)⑫ 13 計算基礎問題(初級編)⑬ 14 計算基礎問題(初級編)⑭ 15 計算基礎問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)① 2 財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)① 3 管理会計 択一式応用問題(初級編)① 4 企業法 択一式応用問題(初級編)① 5 監査論 択一式応用問題(初級編)① 6 財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)② 7 財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)② 8 管理会計 択一式応用問題(初級編)② 9 企業法 択一式応用問題(初級編)② 10 監査論 択一式応用問題(初級編)② 11 財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)③ 12 財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)③ 13 管理会計 択一式応用問題(初級編)③ 14 企業法 択一式応用問題(初級編)③ 15 監査論 択一式応用問題(初級編)③
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株式の意義等 2 株主の権利・義務 3 株主平等原則 4 株式の譲渡 5 自己株式の取得・処分等の制限 6 子会社による親会社株式の取得 7 株券 8 株主名簿 9 株式担保 10 株式振替制度 11 株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却 12 端数の処理 13 単元株制度 14 株主等売渡請求の概要 15 株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 IT(情報技術) 2 監査契約に係る予備的な活動 3 監査計画 4 監査証拠の入手方法 5 監査上の重要性 6 特別な検討を必要とするリスク 7 関連当事者との関係及び取引 8 会計上の見積り 9 財務諸表監査における不正の検討 10 監査における不正リスク対応基準 11 財務諸表監査における法令の検討 12 グループ監査 13 内部監査の利用 14 専門家の業務の利用 15 監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入(概要・計算構造) 3 減価償却(普通償却) 4 租税公課及び納税充当金 5 受取配当等の益金不算入 6 繰延資産(概要) 7 金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入 8 有価証券 9 所得税額控除(原則法) 10 寄附金の損金不算入 11 減価償却(特別償却・概要) 12 特別償却準備金 13 リース取引 14 評価損益 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・会計士学科2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 有価証券総論 2 株式に係る期中処理 3 公社債に係る期中処理 4 有価証券の分類と評価 5 親会社株式 6 約定日基準 7 修正受渡日基準 8 デリバティブ取引の概要 9 先物取引 10 オプション取引 11 スワップ取引 12 ヘッジ会計の概要 13 繰延ヘッジ 14 時価ヘッジ 15 債権譲渡 16 ローン・パーティシペーション 17 デット・アサンプション 18 デット・エクイティ・スワップ 19 ゴルフ会員権 20 有形固定資産総論 21 取得原価の決定(購入) 22 取得原価の決定(時価建設) 23 取得原価の決定(現物出資)	24 取得原価の決定(交換) 25 取得原価の決定(贈与) 26 減価償却の概要 27 減価償却(定額法) 28 減価償却(旧定率法) 29 減価償却(200%定率法) 30 減価償却(250%定額法) 31 減価償却(級数法) 32 減価償却(生産高比例法) 33 資本的支出と収益的支出 34 総合償却 35 売却 36 除却 37 下取り買替え 38 圧縮記帳(直接減額方式) 39 臨時損失 40 保険差益 41 特別目的会社を活用した不動産の流動性 42 巻末総合問題演習① 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計基準を設定するアプローチ 2 概念フレームワークの公表 3 財務報告の目的 4 会計情報の質的特性 5 財務諸表の構成要素 6 財務諸表における認識と測定 7 実現主義 8 発生主義 9 費用収益対応の原則 10 収支額基準 11 実現可能性基準 12 原価主義 13 時価主義 14 割引原価主義 15 費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	択一式の問題演習を通して、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	択一式の問題演習を通して、計算力の向上や原価計算基準を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合原価計算総論 2 総合原価計算 3 直接材料費と加工費 4 仕掛品の完成品換算 5 総合原価計算の種類 6 単純総合原価計算(単純総合原価計算の意義) 7 単純総合原価計算(月末仕掛費の評価方法) 8 単純総合原価計算(正常仕損・正常減損の処理) 9 単純総合原価計算(副産物・作業屑の処理) 10 単純総合原価計算(異常仕損(減損)の処理) 11 工程別総合原価計算の処理 12 工程別計算の計算手順(累加法) 13 工程別計算の計算手順(通常計算方式の非累加法) 14 予定振替原価の利用 15 追加原材料の意義 16 追加原材料(増量しない場合) 17 組別総合原価計算の意義 18 組別総合原価計算の手続 19 等級別総合原価計算の意義 20 完成品原価按分法(単純総合原価計算に近い方法) 21 当月製造費用按分法(組別総合原価計算に近い方法) 22 連産品 23 連結原価(結合原価)の按分 24 連産品を副産物とみなす場合の計算 25 連結原価(結合原価)を按分する理由 26 授業内演習① 27 授業内演習② 28 授業内演習③ 29 授業内演習④ 30 授業内演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60 単位時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総説一株式会社の機関設計 2 公開会社の機関構造の特色 3 株主総会 4 取締役 5 善管注意義務と忠実義務 6 競業禁止義務 7 利益相反取引 8 取締役の責任 9 取締役の第三者に対する責任 10 取締役会の意義・設置 11 取締役会の権限 12 代表取締役 13 監査役 14 監査役会 15 会計参与 16 会計監査人 17 指名委員会等設置会社 18 監査等委員会設置会社 19 募集株式の発行等 20 募集事項の決定 21 募集事項の決定 22 出資の履行等 23 募集株式の発行等の効力発生等 24 新株予約権 25 社債の意義 26 社債と株式の異同 27 社債の発行 28 社債の管理 29 社債の譲渡 30 利息の支払・償還
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査の品質管理 2 監査人の交代(監査事務所間の交代) 3 監査役等とのコミュニケーション 4 内部統制の不備に関するコミュニケーション 5 監査調書 6 監査意見の内容 7 財務諸表の適正性 8 監査報告書 9 無限定適正意見の場合 10 除外事項付意見の場合 11 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 12 追記情報の意義 13 追記情報と保証機能 14 比較情報 15 監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制税理士・会計士学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90単位時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表(入門編) 2 有価証券(入門編) 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計(入門編) 4 有形固定資産(入門編) 5 割引現在価値(入門編) 6 リース取引①(入門編) 7 リース取引②(入門編) 8 固定資産の減損(入門編) 9 研究開発費とソフトウェア(入門編) 10 繰延資産(入門編) 11 社債(入門編) 12 引当金①(入門編) 13 引当金②(入門編) 14 退職給付①(入門編) 15 退職給付②(入門編) 16 資産除去債務(入門編) 17 純資産(入門編) 18 新株予約権と新株予約権付社債(入門編) 19 スtock・オプション(入門編) 20 税効果会計①(入門編) 21 税効果会計②(入門編) 22 外貨建取引①(入門編) 23 外貨建取引②(入門編) 24 商品売買等①(入門編) 25 商品売買等②(入門編) 26 商品売買等③(入門編) 27 工事契約(入門編) 28 本支店会計①(入門編) 29 本支店会計②(入門編) 30 連結財務諸表総論(入門編) 31 資本連結(入門編) 32 成果連結(入門編) 33 持分法(入門編) 34 連結税効果会計(入門編) 35 包括利益(入門編) 36 在外子会社(入門編) 37 企業結合(入門編) 38 事業分離①(入門編) 39 事業分離②(入門編) 40 キャッシュフロー計算書①(入門編) 41 キャッシュフロー計算書②(入門編) 42 キャッシュフロー計算書③(入門編) 43 連結キャッシュフロー計算書①(入門編) 44 連結キャッシュフロー計算書②(入門編) 45 連結キャッシュフロー計算書③(入門編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	9 0 単位時間
授業コマ数	4 5 コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算(入門編) 2 費目別計算①(入門編) 3 費目別計算②(入門編) 4 部門別計算①(入門編) 5 部門別計算②(入門編) 6 部門別計算③(入門編) 7 個別原価計算①(入門編) 8 個別原価計算②(入門編) 9 個別原価計算③(入門編) 10 総合原価計算①(入門編) 11 総合原価計算②(入門編) 12 総合原価計算③(入門編) 13 総合原価計算④(入門編) 14 標準原価計算①(入門編) 15 標準原価計算②(入門編) 16 標準原価計算③(入門編) 17 標準原価計算④(入門編) 18 標準原価計算⑤(入門編) 19 標準原価計算⑥(入門編) 20 直接原価計算(入門編) 21 短期利益計画①(入門編) 22 短期利益計画②(入門編) 23 予算管理①(入門編) 24 予算管理②(入門編) 25 予算管理③(入門編) 26 意思決定会計①(入門編) 27 意思決定会計②(入門編) 28 意思決定会計③(入門編) 29 意思決定会計④(入門編) 30 意思決定会計⑤(入門編) 31 意思決定会計⑥(入門編) 32 意思決定会計⑦(入門編) 33 意思決定会計⑧(入門編) 34 工業簿記と原価計算まとめ①(入門編) 35 工業簿記と原価計算まとめ②(入門編) 36 工業簿記と原価計算まとめ③(入門編) 37 工業簿記と原価計算まとめ④(入門編) 38 工業簿記と原価計算まとめ⑤(入門編) 39 工業簿記と原価計算まとめ⑥(入門編) 40 工業簿記と原価計算まとめ⑦(入門編) 41 工業簿記と原価計算まとめ⑧(入門編) 42 工業簿記と原価計算まとめ⑨(入門編) 43 工業簿記と原価計算まとめ⑩(入門編) 44 工業簿記と原価計算まとめ⑪(入門編) 45 工業簿記と原価計算まとめ⑫(入門編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	9 0 単位時間
授業コマ数	4 5 コマ
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論 2 簿記一巡の手続、財務諸表 3 現金預金、銀行勘定調整表 4 債権・債務 5 棚卸資産 6 有価証券①(有価証券の分類) 7 有価証券②(売買目的有価証券、満期保有目的債券) 8 有価証券③(子会社株式、関連会社株式) 9 有価証券④(その他有価証券、端数利息) 10 固定資産①(有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定) 11 固定資産②(有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費) 12 固定資産③(法人税法上の減価償却、圧縮記帳) 13 固定資産④(有形固定資産の売却、買換え、除却、滅失) 14 固定資産⑤(リース会計、無形固定資産) 15 固定資産⑥(ソフトウェア、投資その他資産) 16 債務保証 17 引当金①(貸倒引当金) 18 引当金②(貸倒引当金発生時の会計処理) 19 引当金③(その他の引当金) 20 収益と費用 21 為替換算会計①(外貨建取引) 22 為替換算会計②(為替予約) 23 株式会社の純資産①(意義、純資産) 24 株式会社の純資産②(株式の発行、剰余金の配当等) 25 株式会社の純資産③(株主資本の係数の変動) 26 企業結合 27 税金①(消費税) 28 税金②(法人税等) 29 税金③(税効果会計) 30 帳簿組織 31 伝票会計 32 決算①(決算整理、帳簿決算手続き) 33 決算②(財務諸表、精算表) 34 製造業を営む会社の決算処理 35 本支店会計①(意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引) 36 本支店会計②(決算) 37 連結会計①(財務諸表) 38 連結会計②(支配獲得日の連結手続き) 39 連結会計③(支配獲得後の連結手続き) 40 連結会計④(連結会社相互間取引の相殺消去) 41 連結会計⑤(未実現利益の控除) 42 連結会計⑥(連結株主資本等変動計算書) 43 連結会計⑦(連結第1年度、連結第2年度) 44 確認テスト(第1回) 45 確認テスト(第2回)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 税理士コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90単位時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の記帳体系①(個別原価計算) 3 工業簿記の記帳体系②(決算) 4 材料費会計①(材料の購入、返品、消費、棚卸減耗) 5 材料費会計②(予定消費価格による材料費の計算と記帳) 6 労務費会計①(支払額の計算と記帳) 7 労務費会計②(消費額の計算と記帳) 8 労務費会計③(予定消費賃率による消費額の計算と記帳) 9 経費会計 10 製造間接費会計①(実際配賦と予定配賦) 11 製造間接費会計②(差異の原因別分析) 12 単純個別原価計算①(単純個別原価計算) 13 単純個別原価計算②(仕損の処理) 14 部門別計算①(部門別計算の手続きと記帳体系) 15 部門別計算②(部門個別費と部門共通費) 16 部門別計算③(補助部門費の配賦①) 17 部門別計算④(補助部門費の配賦②) 18 部門別計算⑤(仕掛品の計算) 19 部門別計算⑥(差異の原因別分析) 20 工企業の財務諸表①(製造原価報告書) 21 工企業の財務諸表②(損益計算書、貸借対照表) 22 工業簿記の記帳体系(総合原価計算) 23 総合原価計算①(単純総合原価計算) 24 総合原価計算②(月末仕掛品原価の評価) 25 総合原価計算③(材料の投入形態) 26 総合原価計算④(損益計算書の作成) 27 総合原価計算⑤(減損の処理) 28 総合原価計算⑥(仕損の処理) 29 工程別総合原価計算①(月末仕掛品原価の計算) 30 工程別総合原価計算②(半製品の処理) 31 組別総合原価計算 32 等級別総合原価計算①(完成品総合原価に等価係数を用いる方法) 33 等級別総合原価計算②(当月製造費用に等価係数を用いる方法) 34 標準原価計算①(月末仕掛品および完成品原価の計算) 35 標準原価計算②(原価差異の計算) 36 標準原価計算③(仕掛品勘定の記帳方法) 37 標準原価計算④(直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析) 38 標準原価計算⑤(製造間接費差異の原因別分析①) 39 標準原価計算⑥(製造間接費差異の原因別分析②) 40 原価・営業量・利益関係の分析 41 直接原価計算①(直接原価計算) 42 直接原価計算②(固定費調整) 43 工場会計の独立 44 確認テスト(第1回) 45 確認テスト(第2回)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 有価証券(基礎編) 2 有形固定資産(基礎編) 3 リース取引(基礎編) 4 固定資産の減損(基礎編) 5 退職給付(基礎編) 6 純資産(基礎編) 7 新株予約権と新株予約権付社債(基礎編) 8 スtock・オプション(基礎編) 9 税効果会計(基礎編) 10 外貨建取引(基礎編) 11 商品売買等(基礎編) 12 資本連結(基礎編) 13 連結税効果会計(基礎編) 14 在外子会社、事業分離(基礎編) 15 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算基礎 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別原価計算(基礎編) 2 部門別計算(基礎編) 3 総合原価計算(基礎編) 4 標準原価計算(基礎編) 5 直接原価計算(基礎編) 6 短期利益計画(基礎編) 7 予算管理(基礎編) 8 事業部制(基礎編) 9 業務的意思決定①(基礎編) 10 業務的意思決定②(基礎編) 11 構造的意意思決定①(基礎編) 12 構造的意意思決定②(基礎編) 13 構造的意意思決定③(基礎編) 14 戦略的原価計算①(基礎編) 15 戦略的原価計算②(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記応用 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金預金 2 債権・債務、棚卸資産 3 有価証券 4 固定資産①(応用編①) 5 固定資産②(応用編②) 6 固定資産③(応用編③) 7 債務保証、引当金 8 収益と費用、為替換算会計 9 株式会社の純資産 10 企業結合、税金 11 決算 12 本支店会計 13 連結会計①(応用編①) 14 連結会計②(応用編②) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記応用 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の記帳体系 2 材料費会計 3 労務費会計 4 経費会計、製造間接費会計 5 単純個別原価計算 6 部門別計算①(応用編①) 7 部門別計算②(応用編②) 8 工企業の財務諸表、総合原価計算 9 工程別総合原価計算 10 組別総合原価計算、等級別総合原価計算 11 標準原価計算①(応用編①) 12 標準原価計算②(応用編②) 13 原価・営業量・利益関係の分析 14 直接原価計算 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90単位時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引 2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計 3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション 4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳 5 売価還元原価法、転換社債 6 電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産 7 連結会計 8 キャッシュフロー計算書、企業結合 9 返品調整引当金、外貨建有価証券(減損)、ヘッジ会計 10 本支店会計総合問題(在外支店) 11 本支店会計総合問題(決算整理後合併残高試算表) 12 決算整理後残高試算表作成(会計上の変更) 13 決算整理後残高試算表作成(委託販売) 14 損益計算書作成(各種財務諸表金額算定) 15 損益計算書作成(財務諸表の注記に関する金額算定) 16 連結損益計算書 17 連結貸借対照表 18 会計上の変更 19 包括利益 20 理論対策:語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題① 21 理論対策:語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題② 22 理論対策:語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③ 23 理論対策:語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④ 24 理論対策:語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤ 25 理論対策:語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥ 26 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編) 27 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編) 28 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編) 29 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編) 30 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編) 31 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編) 32 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算総合 I
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	9 0 単位時間
授業コマ数	4 5 コマ
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 実際単純個別原価計算 2 部門別計算 3 部門別個別原価計算 4 実際工程別総合原価計算① 5 実際工程別総合原価計算② 6 連産品原価の計算および追加加工の意思決定 7 標準総合原価計算(仕損費の処理) 8 標準総合原価計算(配合差異・歩留差異) 9 標準総合原価計算(原価差異の追加配賦) 10 標準個別原価計算 11 実際直接工程別総合原価計算 12 実際直接部門別個別原価計算 13 CVP分析 14 直接標準総合原価計算(総合予算編成 四半期現金収支) 15 直接標準総合原価計算(総合予算編成 資金調達) 16 予算統制(予算財務諸表作成) 17 直接標準原価計算(営業利益の差異分析) 18 事業部の業績測定 19 業務的意思決定(原価分解、最適セールスミックス、新規注文の引受可否) 20 業務的意思決定(部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量) 21 構造的意意思決定(各種評価方法、取換投資、拡張投資) 22 構造的意意思決定(差額キャッシュフローの計算) 23 戦略的原価計算(損益・優劣分岐点、無限反復投資) 24 戦略的原価計算(原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算) 25 戦略的原価計算(ライフサイクルコスト、活動基準原価計算) 26 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編) 27 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編) 28 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編) 29 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編) 30 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編) 31 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編) 32 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	9 0 単位時間
授業コマ数	4 5 コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(中級編) 2 商業簿記総まとめ②(中級編) 3 商業簿記総まとめ③(中級編) 4 商業簿記総まとめ④(中級編) 5 商業簿記総まとめ⑤(中級編) 6 商業簿記総まとめ⑥(中級編) 7 商業簿記総まとめ⑦(中級編) 8 商業簿記総まとめ⑧(中級編) 9 商業簿記総まとめ⑨(中級編) 10 商業簿記総まとめ⑩(中級編) 11 商業簿記総まとめ⑪(中級編) 12 商業簿記総まとめ⑫(中級編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(中級編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(中級編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(中級編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ④(中級編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(中級編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(中級編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_中級編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_中級編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_中級編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_中級編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_中級編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_中級編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_中級編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_中級編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_中級編) 28 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 29 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 30 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 31 総合問題演習②(テスト形式_中級編) 32 総合問題演習②(テスト形式_中級編) 33 総合問題演習②(テスト形式_中級編) 34 総合問題演習③(テスト形式_中級編) 35 総合問題演習③(テスト形式_中級編) 36 総合問題演習③(テスト形式_中級編) 37 総合問題演習④(テスト形式_中級編) 38 総合問題演習④(テスト形式_中級編) 39 総合問題演習④(テスト形式_中級編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_中級編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_中級編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	9 0 単位時間
授業コマ数	4 5 コマ
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(応用編) 2 商業簿記総まとめ②(応用編) 3 商業簿記総まとめ③(応用編) 4 商業簿記総まとめ④(応用編) 5 商業簿記総まとめ⑤(応用編) 6 商業簿記総まとめ⑥(応用編) 7 商業簿記総まとめ⑦(応用編) 8 商業簿記総まとめ⑧(応用編) 9 商業簿記総まとめ⑨(応用編) 10 商業簿記総まとめ⑩(応用編) 11 商業簿記総まとめ⑪(応用編) 12 商業簿記総まとめ⑫(応用編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(応用編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(応用編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(応用編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ④(応用編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(応用編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(応用編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_応用編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_応用編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_応用編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_応用編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_応用編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_応用編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_応用編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_応用編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_応用編) 28 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 29 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 30 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 31 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 32 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 33 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 34 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 35 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 36 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 37 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 38 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 39 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_応用編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_応用編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・会計士学科2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(入門編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(入門編)
	2	税効果会計Ⅰ②(入門編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(入門編)
	3	税効果会計Ⅰ③(入門編)	33	リース会計Ⅰ①(入門編)
	4	税効果会計Ⅰ④(入門編)	34	リース会計Ⅰ②(入門編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(入門編)	35	リース会計Ⅰ③(入門編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(入門編)	36	リース会計Ⅰ④(入門編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(入門編)	37	リース会計Ⅰ⑤(入門編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(入門編)	38	リース会計Ⅰ⑥(入門編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(入門編)	39	試用販売Ⅰ①(入門編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(入門編)	40	試用販売Ⅰ②(入門編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(入門編)	41	試用販売Ⅰ③(入門編)
	12	保険金Ⅰ①(入門編)	42	試用販売Ⅰ④(入門編)
	13	保険金Ⅰ②(入門編)	43	試用販売Ⅰ⑤(入門編)
	14	保険金Ⅰ③(入門編)	44	試用販売Ⅰ⑥(入門編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(入門編)	45	割賦販売Ⅰ①(入門編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(入門編)	46	割賦販売Ⅰ②(入門編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(入門編)	47	割賦販売Ⅰ③(入門編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(入門編)	48	割賦販売Ⅰ④(入門編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(入門編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(入門編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(入門編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(入門編)
	21	減損会計Ⅰ①(入門編)	51	未着品販売Ⅰ①(入門編)
	22	減損会計Ⅰ②(入門編)	52	未着品販売Ⅰ②(入門編)
	23	減損会計Ⅰ③(入門編)	53	未着品販売Ⅰ③(入門編)
	24	減損会計Ⅰ④(入門編)	54	未着品販売Ⅰ④(入門編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(入門編)	55	委託販売・受託販売Ⅰ①(入門編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(入門編)	56	委託販売・受託販売Ⅰ②(入門編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(入門編)	57	委託販売・受託販売Ⅰ③(入門編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(入門編)	58	委託販売・受託販売Ⅰ④(入門編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(入門編)	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤(入門編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(入門編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論基礎 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	1 2 0 単位時間		
授業コマ数	6 0 コマ		
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①(入門)	31 純資産会計①(入門)
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②(入門)	32 純資産会計②(入門)
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③(入門)	33 純資産会計③(入門)
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④(入門)	34 純資産会計④(入門)
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤(入門)	35 純資産会計⑤(入門)
	6	分配可能額①(入門)	36 企業結合会計①(入門)
	7	分配可能額②(入門)	37 企業結合会計②(入門)
	8	分配可能額③(入門)	38 企業結合会計③(入門)
	9	分配可能額④(入門)	39 企業結合会計④(入門)
	10	分配可能額⑤(入門)	40 企業結合会計⑤(入門)
	11	ストック・オプション①(入門)	41 事業分離会計①(入門)
	12	ストック・オプション②(入門)	42 事業分離会計②(入門)
	13	ストック・オプション③(入門)	43 事業分離会計③(入門)
	14	ストック・オプション④(入門)	44 事業分離会計④(入門)
	15	ストック・オプション⑤(入門)	45 事業分離会計⑤(入門)
	16	セール&リースバック①(入門)	46 四半期財務諸表①(入門)
	17	セール&リースバック②(入門)	47 四半期財務諸表②(入門)
	18	セール&リースバック③(入門)	48 四半期財務諸表③(入門)
	19	セール&リースバック④(入門)	49 四半期財務諸表④(入門)
	20	セール&リースバック⑤(入門)	50 四半期財務諸表⑤(入門)
	21	財務諸表等規則①(入門)	51 ヘッジ会計①(入門)
	22	財務諸表等規則②(入門)	52 ヘッジ会計②(入門)
	23	財務諸表等規則③(入門)	53 ヘッジ会計③(入門)
	24	財務諸表等規則④(入門)	54 ヘッジ会計④(入門)
	25	財務諸表等規則⑤(入門)	55 ヘッジ会計⑤(入門)
	26	負債①(入門)	56 包括利益①(入門)
	27	負債②(入門)	57 包括利益②(入門)
	28	負債③(入門)	58 包括利益③(入門)
	29	負債④(入門)	59 包括利益④(入門)
	30	負債⑤(入門)	60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 2 0 単位時間	
授業コマ数	6 0 コマ	
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 国境を越えた役務の提供①(入門編)	31 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①(入門編)
	2 国境を越えた役務の提供②(入門編)	32 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②(入門編)
	3 国境を越えた役務の提供③(入門編)	33 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③(入門編)
	4 国境を越えた役務の提供④(入門編)	34 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④(入門編)
	5 国境を越えた役務の提供⑤(入門編)	35 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①(入門編)
	6 中間申告に係る納付税額の計算①(入門編)	36 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②(入門編)
	7 中間申告に係る納付税額の計算②(入門編)	37 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③(入門編)
	8 課税仕入れ等の分類①(入門編)	38 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④(入門編)
	9 課税仕入れ等の分類②(入門編)	39 課税標準①(入門編)
	10 課税仕入れ等の分類③(入門編)	40 課税標準②(入門編)
	11 課税仕入れ等の分類④(入門編)	41 課税標準③(入門編)
	12 課税仕入れ等の分類⑤(入門編)	42 課税標準④(入門編)
	13 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(入門編)	43 課税標準⑤(入門編)
	14 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(入門編)	44 課税標準⑥(入門編)
	15 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(入門編)	45 簡易課税制度①(入門編)
	16 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(入門編)	46 簡易課税制度②(入門編)
	17 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(入門編)	47 簡易課税制度③(入門編)
	18 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③(入門編)	48 簡易課税制度④(入門編)
	19 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④(入門編)	49 簡易課税制度⑤(入門編)
	20 納税義務の免除の特例①(入門編)	50 簡易課税制度⑥(入門編)
	21 納税義務の免除の特例②(入門編)	51 簡易課税制度⑦(入門編)
	22 納税義務の免除の特例③(入門編)	52 簡易課税制度⑧(入門編)
	23 納税義務の免除の特例④(入門編)	53 簡易課税制度⑨(入門編)
	24 納税義務の免除の特例⑤(入門編)	54 簡易課税制度⑩(入門編)
	25 納税義務の免除の特例⑥(入門編)	55 簡易課税制度⑪(入門編)
	26 納税義務の免除の特例⑦(入門編)	56 簡易課税制度⑫(入門編)
	27 納税義務の免除の特例⑧(入門編)	57 簡易課税制度⑬(入門編)
	28 納税義務の免除の特例⑨(入門編)	58 簡易課税制度⑭(入門編)
	29 納税義務の免除の特例⑩(入門編)	59 簡易課税制度⑮(入門編)
	30 納税義務の免除の特例⑪(入門編)	60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	使用貸借により借り受けた宅地等(入門)	31	地積規模の大きな宅地(入門)
	2	使用貸借により貸し付けられた宅地等(入門)	32	がけ地等を有する宅地(入門)
	3	使用貸借により貸し付けられた家屋(入門)	33	旗竿状の宅地等(入門)
	4	小規模宅地等の減額①(入門)	34	容積率の異なる宅地(入門)
	5	小規模宅地等の減額②(入門)	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地(入門)
	6	小規模宅地等の減額③(入門)	36	確認テスト②(理論)
	7	小規模宅地等の減額④(入門)	37	私道の用に供されている宅地(入門)
	8	小規模宅地等の減額⑤(入門)	38	セットバックを必要とする宅地(入門)
	9	小規模宅地等の減額⑥(入門)	39	上場株式(権利落)(入門)
	10	確認テスト①(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利(入門)
	11	取引相場のない株式①(入門)	41	宅地等の評価単位(入門)
	12	取引相場のない株式②(入門)	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林(入門)
	13	取引相場のない株式③(入門)	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(入門)
	14	取引相場のない株式④(入門)	44	立木、立木の評価減(入門)
	15	取引相場のない株式⑤(入門)	45	配当期待権(入門)
	16	取引相場のない株式⑥(入門)	46	贈与税が課税される場合(入門)
	17	取引相場のない株式⑦(入門)	47	相続税が課税される場合(入門)
	18	取引相場のない株式⑧(入門)	48	負担付遺贈・贈与(入門)
	19	取引相場のない株式⑨(入門)	49	贈与税の非課税財産(入門)
	20	取引相場のない株式⑩(入門)	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(入門)
	21	取引相場のない株式⑪(入門)	51	契約者貸付金等がある場合の保険金(入門)
	22	取引相場のない株式⑫(入門)	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(入門)
	23	取引相場のない株式⑬(入門)	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(入門)
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(入門)	54	証券投資信託受益証券(入門)
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(入門)	55	ゴルフ会員権(入門)
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権(入門)	56	不動産投資信託証券(入門)
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(入門)	57	措法70の非課税(入門)
	28	利用区分が異なる建物(入門)	58	権利義務の承継(入門)
	29	建築中の家屋(入門)	59	贈与税の配偶者控除(入門)
	30	不整形地(入門)	60	確認テスト③(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 3 回分の平均点100%			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	役員判定Ⅰ(入門)	31	保険料Ⅰ(入門)
	2	役員判定Ⅱ(入門)	32	保険料Ⅱ(入門)
	3	役員給与Ⅰ(入門)	33	設立事業年度Ⅰ(入門)
	4	役員給与Ⅱ(入門)	34	設立事業年度Ⅱ(入門)
	5	使用人給与Ⅰ(入門)	35	組織再編税制Ⅰ(入門)
	6	使用人給与Ⅱ(入門)	36	組織再編税制Ⅱ(入門)
	7	特定資産の買換えⅠ(入門)	37	工事の請負Ⅰ(入門)
	8	特定資産の買換えⅡ(入門)	38	工事の請負Ⅱ(入門)
	9	外国税額控除Ⅰ(入門)	39	修正申告Ⅰ(入門)
	10	外国税額控除Ⅱ(入門)	40	修正申告Ⅱ(入門)
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ(入門)	41	税効果会計Ⅰ(入門)
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ(入門)	42	税効果会計Ⅱ(入門)
	13	みなし配当金Ⅰ(入門)	43	質上げ・投資促進税制Ⅰ(入門)
	14	みなし配当金Ⅱ(入門)	44	質上げ・投資促進税制Ⅱ(入門)
	15	資本等取引Ⅰ(入門)	45	スピンオフ税制Ⅰ(入門)
	16	資本等取引Ⅱ(入門)	46	スピンオフ税制Ⅱ(入門)
	17	交換差益Ⅰ(入門)	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ(入門)
	18	交換差益Ⅱ(入門)	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ(入門)
	19	別表五(二)Ⅰ(入門)	49	適用除外事業者Ⅰ(入門)
	20	別表五(二)Ⅱ(入門)	50	適用除外事業者Ⅱ(入門)
	21	リース取引Ⅰ(入門)	51	地方法人税Ⅰ(入門)
	22	リース取引Ⅱ(入門)	52	地方法人税Ⅱ(入門)
	23	繰延資産Ⅰ(入門)	53	外国子会社配当Ⅰ(入門)
	24	繰延資産Ⅱ(入門)	54	外国子会社配当Ⅱ(入門)
	25	確定決算型Ⅰ(入門)	55	借地権等Ⅰ(入門)
	26	確定決算型Ⅱ(入門)	56	借地権等Ⅱ(入門)
	27	グループ法人税制Ⅰ(入門)	57	償還差損益Ⅰ(入門)
	28	グループ法人税制Ⅱ(入門)	58	償還差損益Ⅱ(入門)
	29	資産の評価損益Ⅰ(入門)	59	未収還付税金Ⅰ(入門)
	30	資産の評価損益Ⅱ(入門)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①(入門編)	31	貸倒れⅠ①(入門編)
	2	簿記の概要Ⅰ②(入門編)	32	貸倒れⅠ②(入門編)
	3	簿記の概要Ⅰ③(入門編)	33	貸倒れⅠ③(入門編)
	4	簿記の概要Ⅰ④(入門編)	34	退職給付会計Ⅰ①(入門編)
	5	現金預金Ⅰ①(入門編)	35	退職給付会計Ⅰ②(入門編)
	6	現金預金Ⅰ②(入門編)	36	退職給付会計Ⅰ③(入門編)
	7	現金預金Ⅰ③(入門編)	37	退職給付会計Ⅰ④(入門編)
	8	債権債務Ⅰ①(入門編)	38	退職給付会計Ⅰ⑤(入門編)
	9	債権債務Ⅰ②(入門編)	39	退職給付会計Ⅰ⑥(入門編)
	10	商品売買Ⅰ①(入門編)	40	退職給付会計Ⅰ⑦(入門編)
	11	商品売買Ⅰ②(入門編)	41	退職給付会計Ⅰ⑧(入門編)
	12	商品売買Ⅰ③(入門編)	42	税金Ⅰ①(入門編)
	13	給料等Ⅰ①(入門編)	43	税金Ⅰ②(入門編)
	14	給料等Ⅰ②(入門編)	44	税金Ⅰ③(入門編)
	15	給料等Ⅰ③(入門編)	45	税金Ⅰ④(入門編)
	16	固定資産Ⅰ①(入門編)	46	社債Ⅰ①(入門編)
	17	固定資産Ⅰ②(入門編)	47	社債Ⅰ②(入門編)
	18	固定資産Ⅰ③(入門編)	48	社債Ⅰ③(入門編)
	19	固定資産Ⅰ④(入門編)	49	社債Ⅰ④(入門編)
	20	固定資産Ⅰ⑤(入門編)	50	社債Ⅰ⑤(入門編)
	21	固定資産Ⅰ⑥(入門編)	51	社債Ⅰ⑥(入門編)
	22	固定資産Ⅰ⑦(入門編)	52	純資産会計Ⅰ①(入門編)
	23	固定資産Ⅰ⑧(入門編)	53	純資産会計Ⅰ②(入門編)
	24	固定資産Ⅰ⑨(入門編)	54	純資産会計Ⅰ③(入門編)
	25	固定資産Ⅰ⑩(入門編)	55	純資産会計Ⅰ④(入門編)
	26	ソフトウェアⅠ①(入門編)	56	有価証券Ⅰ①(入門編)
	27	ソフトウェアⅠ②(入門編)	57	有価証券Ⅰ②(入門編)
	28	債権債務Ⅰ①(入門編)	58	有価証券Ⅰ③(入門編)
	29	債権債務Ⅰ②(入門編)	59	有価証券Ⅰ④(入門編)
	30	債権債務Ⅰ③(入門編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎(入門・基礎)	31	株主資本等変動計算書(入門・基礎)
	2	個別注記表(入門・基礎)	32	減損会計(入門・基礎)
	3	現金及び預金(入門・基礎)	33	配当を受けた株主の処理(入門・基礎)
	4	債権債務(入門・基礎)	34	圧縮記帳(入門・基礎)
	5	関係会社概念(入門・基礎)	35	外貨建取引(入門・基礎)
	6	売上原価の算定(入門・基礎)	36	退職給付会計簡便法(入門・基礎)
	7	貸倒れ(入門・基礎)	37	繰延資産(入門・基礎)
	8	給料等(入門・基礎)	38	為替予約(入門・基礎)
	9	その他の引当金(入門・基礎)	39	仕入・売上げの計上基準(入門・基礎)
	10	退職給付会計(入門・基礎)	40	消費税等(入門・基礎)
	11	有形固定資産(入門・基礎)	41	他勘定振替(入門・基礎)
	12	無形固定資産(入門・基礎)	42	外貨建有価証券(入門・基礎)
	13	株主資本(入門・基礎)	43	リース会計(入門・基礎)
	14	財務諸表論の基礎概念(入門・基礎)	44	証券投資信託(入門・基礎)
	15	売買目的有価証券(入門・基礎)	45	ゴルフ会員権(入門・基礎)
	16	満期保有目的の債券(入門・基礎)	46	売価還元法(入門・基礎)
	17	子会社株式・関連会社株式(入門・基礎)	47	製造業会計(入門・基礎)
	18	その他有価証券(入門・基礎)	48	研究開発費(入門・基礎)
	19	ソフトウェア(入門・基礎)	49	新株予約権(入門・基礎)
	20	法人税等・追徴還付(入門・基礎)	50	キャッシュ・フロー計算書(入門・基礎)
	21	現在価値計算(入門・基礎)	51	損益計算書総論(入門・基礎)
	22	社債(入門・基礎)	52	貸借対照表総論(入門・基礎)
	23	利益剰余金(入門・基礎)	53	資産総論(入門・基礎)
	24	自己株式(入門・基礎)	54	棚卸資産に関する会計基準(入門・基礎)
	25	配当(入門・基礎)	55	連続意見書(入門・基礎)
	26	外形基準、租税公課(入門・基礎)	56	引当金(入門・基礎)
	27	源泉所得税、社会保険料(入門・基礎)	57	会計観(入門・基礎)
	28	税効果会計(入門・基礎)	58	金融商品(入門・基礎)
	29	税効果注記(入門・基礎)	59	収益性の低下(入門・基礎)
	30	源泉所得税、社会保険料(入門・基礎)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 2 0 単位時間	
授業コマ数	6 0 コマ	
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ①(全経総合編) 2 商業簿記・会計学総まとめ②(全経総合編) 3 商業簿記・会計学総まとめ③(全経総合編) 4 工業簿記・原価計算総まとめ①(全経総合編) 5 工業簿記・原価計算総まとめ②(全経総合編) 6 工業簿記・原価計算総まとめ③(全経総合編) 7 商業簿記・会計学総まとめ④(全経総合編) 8 商業簿記・会計学総まとめ⑤(全経総合編) 9 商業簿記・会計学総まとめ⑥(全経総合編) 10 工業簿記・原価計算総まとめ④(全経総合編) 11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(全経総合編) 12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(全経総合編) 13 商業簿記・会計学総まとめ⑦(全経総合編) 14 商業簿記・会計学総まとめ⑧(全経総合編) 15 商業簿記・会計学総まとめ⑨(全経総合編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦(全経総合編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧(全経総合編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨(全経総合編) 19 商業簿記・会計学総まとめ⑩(全経総合編) 20 商業簿記・会計学総まとめ⑪(全経総合編) 21 商業簿記・会計学総まとめ⑫(全経総合編) 22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩(全経総合編) 23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪(全経総合編) 24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫(全経総合編) 25 商業簿記・会計学総まとめ⑬(全経総合編) 26 商業簿記・会計学総まとめ⑭(全経総合編) 27 商業簿記・会計学総まとめ⑮(全経総合編) 28 工業簿記・原価計算総まとめ⑬(全経総合編) 29 工業簿記・原価計算総まとめ⑭(全経総合編) 30 工業簿記・原価計算総まとめ⑮(全経総合編)	31 総合問題対策①(全経総合編) 32 総合問題対策②(全経総合編) 33 総合問題対策③(全経総合編) 34 総合問題対策④(全経総合編) 35 総合問題対策⑤(全経総合編) 36 総合問題対策⑥(全経総合編) 37 総合問題対策⑦(全経総合編) 38 総合問題対策⑧(全経総合編) 39 総合問題対策⑨(全経総合編) 40 総合問題対策⑩(全経総合編) 41 総合問題対策⑪(全経総合編) 42 総合問題対策⑫(全経総合編) 43 総合問題対策⑬(全経総合編) 44 総合問題対策⑭(全経総合編) 45 総合問題対策⑮(全経総合編) 46 総合問題演習①(テスト形式) 47 総合問題演習①(テスト形式) 48 総合問題演習①(テスト形式) 49 総合問題演習②(テスト形式) 50 総合問題演習②(テスト形式) 51 総合問題演習②(テスト形式) 52 総合問題演習③(テスト形式) 53 総合問題演習③(テスト形式) 54 総合問題演習③(テスト形式) 55 総合問題演習④(テスト形式) 56 総合問題演習④(テスト形式) 57 総合問題演習④(テスト形式) 58 総合問題演習⑤(テスト形式) 59 総合問題演習⑤(テスト形式) 60 総合問題演習⑤(テスト形式)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 単位時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産、社債 10 引当金 11 退職給付 12 資産除去債務、純資産 13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション 14 税効果会計 15 外貨建取引 16 商品売買等 17 工事契約 18 本支店会計 19 連結財務諸表総論 20 資本連結 21 成果連結 22 持分法 23 連結税効果会計 24 包括利益 25 在外子会社 26 企業結合 27 事業分離 28 キャッシュフロー計算書 29 連結キャッシュフロー計算書 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科 2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算 2 費目別計算① 3 費目別計算② 4 部門別計算① 5 部門別計算② 6 個別原価計算① 7 個別原価計算② 8 総合原価計算① 9 総合原価計算② 10 総合原価計算③ 11 標準原価計算① 12 標準原価計算② 13 標準原価計算③ 14 標準原価計算④ 15 標準原価計算⑤ 16 直接原価計算 17 短期利益計画 18 予算管理① 19 予算管理② 20 意思決定会計① 21 意思決定会計② 22 意思決定会計③ 23 意思決定会計④ 24 意思決定会計⑤ 25 意思決定会計⑥ 26 意思決定会計⑦ 27 意思決定会計⑧ 28 戦略的原価計算① 29 戦略的原価計算② 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	電卓
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用電卓演習① 2 応用電卓演習② 3 応用電卓演習③ 4 応用電卓演習④ 5 応用電卓演習⑤ 6 応用電卓演習⑥ 7 応用電卓演習⑦ 8 応用電卓演習⑧ 9 応用電卓演習⑨ 10 応用電卓演習⑩ 11 応用電卓演習⑪ 12 応用電卓演習⑫ 13 応用電卓演習⑬ 14 応用電卓演習⑭ 15 応用電卓演習⑮ 16 応用電卓演習⑯ 17 応用電卓演習⑰ 18 応用電卓演習⑱ 19 応用電卓演習⑲ 20 応用電卓演習⑳ 21 応用電卓演習㉑ 22 応用電卓演習㉒ 23 応用電卓演習㉓ 24 応用電卓演習㉔ 25 応用電卓演習㉕ 26 応用電卓演習㉖ 27 応用電卓演習㉗ 28 応用電卓演習㉘ 29 応用電卓演習㉙ 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	漢字・一般常識
実務家教員	
学部・学科	税理士・会計士学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方① 11 漢字の意味・使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 項目別模擬試験③ 15 項目別模擬試験④ 16 直前模擬試験① 17 直前模擬試験② 18 直前模擬試験③ 19 直前模擬試験④ 20 直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員		
学部・学科	税理士・会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	100単位時間	
授業コマ数	50コマ	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成(1)① 11 表、画像、図形を使った文書の作成(1)② 12 表、画像、図形を使った文書の作成(1)③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成(1)④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥ 16 文章の作成と管理① 17 文章の作成と管理② 18 文章の作成と管理③ 19 表作成の基本操作① 20 表作成の基本操作② 21 表作成の基本操作③ 22 表、画像、図形を使った文書の作成(2)① 23 表、画像、図形を使った文書の作成(2)② 24 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③ 25 見やすく使いやすい表にする編集操作① 26 見やすく使いやすい表にする編集操作② 27 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 28 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 29 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 30 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥	31 数式・関数を活用した集計表の作成① 32 数式・関数を活用した集計表の作成② 33 数式・関数を活用した集計表の作成③ 34 ワークシート間の集計① 35 ワークシート間の集計② 36 ワークシート間の集計③ 37 グラフの基本① 38 グラフの基本② 39 グラフの基本③ 40 目的に応じたグラフの作成と編集① 41 目的に応じたグラフの作成と編集② 42 目的に応じたグラフの作成と編集③ 43 文書の作成と管理① 44 文書の作成と管理② 45 文書の作成と管理③ 46 データベース機能の利用① 47 データベース機能の利用② 48 データベース機能の利用③ 49 データの抽出① 50 データの抽出② 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	就職関連演習	
実務家教員		
学部・学科	税理士・会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 会計事務所・企業研究① 11 会計事務所・企業研究① 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験 16 筆記試験とは(一般常識試験)① 17 筆記試験とは(一般常識試験)② 18 筆記試験とは(適性検査試験)① 19 筆記試験とは(適性検査試験)② 20 作文の目的・形式と内容① 21 作文の目的・形式と内容② 22 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし 23 販売・接客・企画職に適した身だしなみ 24 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答① 25 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答② 26 事務職に適したスーツの着こなし 27 事務職に適した身だしなみ 28 敬語の使い方 29 事務職で良く聞かれる質疑応答① 30 事務職で良く聞かれる質疑応答②	31 働くとは 32 業界研究 33 企業研究① 34 企業研究② 35 志望動機の作り方① 36 志望動機の作り方② 37 志望動機の作り方③ 38 志望動機の作り方④ 39 志望動機の作り方⑤ 40 書類送付方法 41 ビジネス電話 42 ビジネスメール 43 内定後学習① 44 内定後学習② 45 内定後学習③ 46 社会人マナー 47 冠婚葬祭マナー 48 贈答マナー 49 会食マナー 50 時事研究・グループ討議① 51 時事研究・グループ討議② 52 時事研究・グループ討議③ 53 時事研究・グループ討議④ 54 時事研究・グループ討議⑤ 55 時事研究・グループ討議⑥ 56 時事研究・グループ討議⑦ 57 時事研究・グループ討議⑧ 58 時事研究・グループ討議⑨ 59 発表① 60 発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経営常識	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 会計士になるために 1 会計士の仕事内容と試験制度概要 2 会計士になるために 2 試験制度の仕組みと学習プラン 3 会計士になるために 3 授業内容と授業心得 4 会計士になるために 4 短答式試験受験の心構え 5 監査法人理解 1 仕事内容 (概要) 6 監査法人理解 2 試験勉強と監査法人業務 7 監査法人理解 3 職種研究 1 (監査) 8 監査法人理解 4 職業研究 2 (金融) 9 監査法人理解 5 職業研究 3 (パブリック) 10 監査法人理解 6 職業研究 4 (IT) 11 監査法人理解 7 職業研究 5 (海外) 12 将来像を考える 1 法人の仕組み (スタッフの仕事理解) 13 将来像を考える 2 法人の仕組み (監査業務内容理解) 14 会計士になるために 5 学習プランの再確認 15 会計士になるために 6 論文式試験の学習内容理解 16 将来像を考える 3 監査法人以外の進路について 17 就職準備 1 (ESの書き方) 18 就職準備 2 (監査法人の調べ方) 19 就職準備 3 (よくある質問対策) 20 会計士になるために 7 論文式試験受験の心構え 21 現金出納帳管理 22 手形・小切手管理 23 有価証券管理 24 財務保証管理 25 貸付金業務 26 借入金業務 27 社債管理 28 デリバティブ取引管理 29 外貨建取引管理 30 資金管理	31 単年決算業務 32 連結決算管理 33 中長期軽々管理 34 年次予算管理① 35 年次予算管理② 36 企業のライフステージ① 37 企業のライフステージ② 38 経営理念と経営戦略① 39 経営理念と経営戦略② 40 経営企画の必要性、事業承継① 41 経営企画の必要性、事業承継② 42 中小企業の資金調達① 43 中小企業の資金調達② 44 企業を取り巻くリスク① 45 企業を取り巻くリスク② 46 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析① 47 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析② 48 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析③ 49 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析④ 50 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑤ 51 利益管理、予算管理① 52 利益管理、予算管理② 53 企業形態としての会社、株式会社の機関① 54 企業形態としての会社、株式会社の機関② 55 株式の譲渡と相続、株主総会① 56 株式の譲渡と相続、株主総会② 57 取締役、代表取締役、取締役会① 58 取締役、代表取締役、取締役会② 59 会社の事業の拡大と整理① 60 会社の事業の拡大と整理②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記論	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 現金預金Ⅱ①(入門編) 2 債権債務Ⅱ①(入門編) 3 商品売買Ⅱ①(入門編) 4 商品売買Ⅱ②(入門編) 5 商品売買Ⅱ③(入門編) 6 固定資産Ⅱ①(入門編) 7 固定資産Ⅱ②(入門編) 8 固定資産Ⅱ③(入門編) 9 退職給付会計Ⅱ①(入門編) 10 退職給付会計Ⅱ②(入門編) 11 退職給付会計Ⅱ③(入門編) 12 債権債務Ⅱ①(入門編) 13 債権債務Ⅱ②(入門編) 14 税金Ⅱ①(入門編) 15 社債Ⅱ①(入門編) 16 社債Ⅱ②(入門編) 17 社債Ⅱ③(入門編) 18 純資産会計Ⅱ①(入門編) 19 純資産会計Ⅱ②(入門編) 20 純資産会計Ⅱ③(入門編) 21 有価証券Ⅱ①(入門編) 22 有価証券Ⅱ②(入門編) 23 有価証券Ⅱ③(入門編) 24 外貨建会計Ⅱ①(入門編) 25 外貨建会計Ⅱ②(入門編) 26 リース会計Ⅱ①(入門編) 27 リース会計Ⅱ②(入門編) 28 試用販売Ⅱ①(入門編) 29 試用販売Ⅱ②(入門編) 30 割賦販売Ⅱ①(入門編)	31 割賦販売Ⅱ②(入門編) 32 割賦販売Ⅱ③(入門編) 33 未着品販売Ⅱ①(入門編) 34 未着品販売Ⅱ②(入門編) 35 委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編) 36 委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編) 37 本支店会計Ⅱ①(入門編) 38 本支店会計Ⅱ②(入門編) 39 組織再編会計Ⅱ①(入門編) 40 組織再編会計Ⅱ②(入門編) 41 連結会計Ⅱ①(入門編) 42 連結会計Ⅱ②(入門編) 43 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編) 44 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編) 45 項目別答練①(入門編) 46 項目別答練②(入門編) 47 項目別答練③(入門編) 48 項目別答練④(入門編) 49 項目別答練⑤(入門編) 50 項目別答練⑥(入門編) 51 基礎答練①(入門編) 52 基礎答練②(入門編) 53 基礎答練③(入門編) 54 基礎答練④(入門編) 55 基礎答練⑤(入門編) 56 基礎答練⑥(入門編) 57 基礎答練⑦(入門編) 58 基礎答練⑧(入門編) 59 基礎答練⑨(入門編) 60 基礎答練⑩(入門編)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①(入門編) 2 税効果会計Ⅰ②(入門編) 3 税効果会計Ⅰ③(入門編) 4 現在価値計算Ⅰ①(入門編) 5 現在価値計算Ⅰ②(入門編) 6 保険金Ⅰ①(入門編) 7 保険金Ⅰ②(入門編) 8 新株予約権付社債Ⅰ①(入門編) 9 新株予約権付社債Ⅰ②(入門編) 10 減損会計Ⅰ①(入門編) 11 減損会計Ⅰ②(入門編) 12 資産除去債務Ⅰ①(入門編) 13 資産除去債務Ⅰ②(入門編) 14 外貨建会計Ⅰ①(入門編) 15 外貨建会計Ⅰ②(入門編) 16 外貨建会計Ⅰ③(入門編) 17 リース会計Ⅰ①(入門編) 18 リース会計Ⅰ②(入門編) 19 試用販売Ⅰ①(入門編) 20 試用販売Ⅰ②(入門編) 21 試用販売Ⅰ③(入門編) 22 割賦販売Ⅰ①(入門編) 23 割賦販売Ⅰ②(入門編) 24 割賦販売Ⅰ③(入門編) 25 未着品販売Ⅰ①(入門編) 26 未着品販売Ⅰ②(入門編) 27 未着品販売Ⅰ③(入門編) 28 委託販売・受託販売Ⅰ①(入門編) 29 委託販売・受託販売Ⅰ②(入門編) 30 確認テスト	31 応用答練①(入門編) 32 応用答練②(入門編) 33 応用答練③(入門編) 34 応用答練④(入門編) 35 応用答練⑤(入門編) 36 応用答練⑥(入門編) 37 応用答練⑦(入門編) 38 応用答練⑧(入門編) 39 応用答練⑨(入門編) 40 応用答練⑩(入門編) 41 過去問演習①(入門編) 42 過去問演習②(入門編) 43 過去問演習③(入門編) 44 過去問演習④(入門編) 45 過去問演習⑤(入門編) 46 過去問演習⑥(入門編) 47 過去問演習⑦(入門編) 48 過去問演習⑧(入門編) 49 過去問演習⑨(入門編) 50 過去問演習⑩(入門編) 51 問題演習実践①(入門編) 52 問題演習実践②(入門編) 53 問題演習実践③(入門編) 54 問題演習実践④(入門編) 55 問題演習実践⑤(入門編) 56 問題演習実践⑥(入門編) 57 問題演習実践⑦(入門編) 58 問題演習実践⑧(入門編) 59 問題演習実践⑨(入門編) 60 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①(入門) 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②(入門) 3 会計上の変更及び誤謬の訂正③(入門) 4 会計上の変更及び誤謬の訂正④(入門) 5 会計上の変更及び誤謬の訂正⑤(入門) 6 分配可能額①(入門) 7 分配可能額②(入門) 8 分配可能額③(入門) 9 分配可能額④(入門) 10 分配可能額⑤(入門) 11 スtock・オプション①(入門) 12 スtock・オプション②(入門) 13 スtock・オプション③(入門) 14 スtock・オプション④(入門) 15 スtock・オプション⑤(入門) 16 セール&リースバック①(入門) 17 セール&リースバック②(入門) 18 セール&リースバック③(入門) 19 セール&リースバック④(入門) 20 セール&リースバック⑤(入門) 21 財務諸表等規則①(入門) 22 財務諸表等規則②(入門) 23 財務諸表等規則③(入門) 24 財務諸表等規則④(入門) 25 財務諸表等規則⑤(入門) 26 負債①(入門) 27 負債②(入門) 28 負債③(入門) 29 負債④(入門) 30 負債⑤(入門)	31 純資産会計①(入門) 32 純資産会計②(入門) 33 純資産会計③(入門) 34 純資産会計④(入門) 35 純資産会計⑤(入門) 36 企業結合会計①(入門) 37 企業結合会計②(入門) 38 企業結合会計③(入門) 39 企業結合会計④(入門) 40 企業結合会計⑤(入門) 41 事業分離会計①(入門) 42 事業分離会計②(入門) 43 事業分離会計③(入門) 44 事業分離会計④(入門) 45 事業分離会計⑤(入門) 46 四半期財務諸表①(入門) 47 四半期財務諸表②(入門) 48 四半期財務諸表③(入門) 49 四半期財務諸表④(入門) 50 四半期財務諸表⑤(入門) 51 ヘッジ会計①(入門) 52 ヘッジ会計②(入門) 53 ヘッジ会計③(入門) 54 ヘッジ会計④(入門) 55 ヘッジ会計⑤(入門) 56 包括利益①(入門) 57 包括利益②(入門) 58 包括利益③(入門) 59 包括利益④(入門) 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 金利スワップ①(入門) 2 金利スワップ②(入門) 3 金利スワップ③(入門) 4 金利スワップ④(入門) 5 金利スワップ⑤(入門) 6 資産及び負債の貸借対照表能力①(入門) 7 資産及び負債の貸借対照表能力②(入門) 8 資産及び負債の貸借対照表能力③(入門) 9 資産及び負債の貸借対照表能力④(入門) 10 資産及び負債の貸借対照表能力⑤(入門) 11 投資のリスクからの解放①(入門) 12 投資のリスクからの解放②(入門) 13 投資のリスクからの解放③(入門) 14 投資のリスクからの解放④(入門) 15 投資のリスクからの解放⑤(入門) 16 配分と評価①(入門) 17 配分と評価②(入門) 18 配分と評価③(入門) 19 配分と評価④(入門) 20 配分と評価⑤(入門) 21 収益認識①(入門) 22 収益認識②(入門) 23 収益認識③(入門) 24 収益認識④(入門) 25 収益認識⑤(入門) 26 組織再①(入門) 27 組織再②(入門) 28 組織再③(入門) 29 組織再④(入門) 30 確認テスト(理論)	31 会計上の変更及び誤謬の訂正①(入門・基礎) 32 会計上の変更及び誤謬の訂正②(入門・基礎) 33 分配可能額①(入門・基礎) 34 分配可能額②(入門・基礎) 35 スtock・オプション①(入門・基礎) 36 スtock・オプション②(入門・基礎) 37 セール&リースバック①(入門・基礎) 38 セール&リースバック②(入門・基礎) 39 財務諸表等規則①(入門・基礎) 40 財務諸表等規則②(入門・基礎) 41 負債①(入門・基礎) 42 負債②(入門・基礎) 43 負債③(入門・基礎) 44 純資産会計①(入門・基礎) 45 純資産会計②(入門・基礎) 46 純資産会計③(入門・基礎) 47 企業結合会計①(入門・基礎) 48 企業結合会計②(入門・基礎) 49 企業結合会計③(入門・基礎) 50 事業分離会計①(入門・基礎) 51 事業分離会計②(入門・基礎) 52 事業分離会計③(入門・基礎) 53 四半期財務諸表①(入門・基礎) 54 四半期財務諸表②(入門・基礎) 55 ヘッジ会計①(入門・基礎) 56 ヘッジ会計②(入門・基礎) 57 包括利益①(入門・基礎) 58 包括利益②(入門・基礎) 59 包括利益③(入門・基礎) 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	消費税	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	80単位時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①(入門編) 3 課税の対象②(入門編) 4 課税の対象③(入門編) 5 課税の対象④(入門編) 6 非課税①(入門編) 7 非課税②(入門編) 8 非課税③(入門編) 9 非課税④(入門編) 10 輸出免税等①(入門編) 11 輸出免税等②(入門編) 12 輸出免税等③(入門編) 13 輸出免税等④(入門編) 14 資産の譲渡等の時期(入門編) 15 控除対象仕入税額①(入門編) 16 控除対象仕入税額②(入門編) 17 控除対象仕入税額③(入門編) 18 控除対象仕入税額④(入門編) 19 控除対象仕入税額⑤(入門編) 20 控除対象仕入税額⑥(入門編) 21 売上げに係る対価の返還等①(入門編) 22 売上げに係る対価の返還等②(入門編) 23 売上げに係る対価の返還等③(入門編) 24 貸倒れが生じた場合①(入門編) 25 貸倒れが生じた場合②(入門編) 26 貸倒れが生じた場合③(入門編) 27 課税仕入れの範囲①(入門編) 28 課税仕入れの範囲②(入門編) 29 課税仕入れの範囲③(入門編) 30 課税仕入れの範囲④(入門編)	31 課税仕入れの範囲⑤(入門編) 32 課税仕入れの範囲⑥(入門編) 33 課税仕入れ等の時期①(入門編) 34 課税仕入れ等の時期②(入門編) 35 課税仕入れ等の時期③(入門編) 36 課税仕入れ等の時期④(入門編) 37 課税仕入れ等の時期⑤(入門編) 38 課税売上割合①(入門編) 39 課税売上割合②(入門編) 40 課税売上割合③(入門編) 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	法人税法			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス(初級)	31	外貨建取引Ⅳ(基礎)
	2	納税義務者(初級)	32	有価証券Ⅰ(基礎)
	3	課税所得の範囲(初級)	33	有価証券Ⅱ(基礎)
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ(初級)	34	有価証券Ⅲ(基礎)
	5	減価償却Ⅰ(初級)	35	有価証券Ⅳ(基礎)
	6	減価償却Ⅱ(初級)	36	収用等Ⅰ(基礎)
	7	減価償却Ⅲ(初級)	37	収用等Ⅱ(基礎)
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ(初級)	38	収用等Ⅲ(基礎)
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ(初級)	39	収用等Ⅳ(基礎)
	10	租税公課等(初級)	40	所得税額控除Ⅰ(基礎)
	11	納税充当金Ⅰ(初級)	41	所得税額控除Ⅱ(基礎)
	12	納税充当金Ⅱ(初級)	42	所得税額控除Ⅲ(基礎)
	13	別表四の作成(初級)	43	所得税額控除Ⅳ(基礎)
	14	事業年度(初級)	44	国庫補助金等Ⅰ(基礎)
	15	確認テスト(理論)	45	国庫補助金等Ⅱ(基礎)
	16	貸倒損失Ⅰ(基礎)	46	国庫補助金等Ⅲ(基礎)
	17	貸倒損失Ⅱ(基礎)	47	国庫補助金等Ⅳ(基礎)
	18	貸倒損失Ⅲ(基礎)	48	別表五(一)の作成Ⅰ(基礎)
	19	貸倒損失Ⅳ(基礎)	49	別表五(一)の作成Ⅱ(基礎)
	20	貸倒引当金Ⅰ(基礎)	50	別表五(一)の作成Ⅲ(基礎)
	21	貸倒引当金Ⅱ(基礎)	51	別表五(一)の作成Ⅳ(基礎)
	22	貸倒引当金Ⅲ(基礎)	52	圧縮記帳Ⅰ(基礎)
	23	貸倒引当金Ⅳ(基礎)	53	圧縮記帳Ⅱ(基礎)
	24	欠損金Ⅰ(基礎)	54	圧縮記帳Ⅲ(基礎)
	25	欠損金Ⅱ(基礎)	55	圧縮記帳Ⅳ(基礎)
	26	欠損金Ⅲ(基礎)	56	圧縮記帳Ⅴ(基礎)
	27	欠損金Ⅳ(基礎)	57	圧縮記帳Ⅵ(基礎)
	28	外貨建取引Ⅰ(基礎)	58	圧縮記帳Ⅶ(基礎)
	29	外貨建取引Ⅱ(基礎)	59	圧縮記帳Ⅷ(基礎)
	30	外貨建取引Ⅲ(基礎)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	企業法	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	80単位時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 個人企業と共同作業 2 会社の概念 3 法人性に関する諸問題 4 4種類の会社 5 株式会社の分類 6 株式会社の本質的特徴 7 株主有限責任の原則から導かれる資本制度 8 本質的特徴から導かれる重要な制度 9 会社設立に関する立法主義 10 株式会社の設立手続きの流れ 11 株式会社の設立の方法 12 発起人の意義 13 発起人の資格 14 発起人の数 15 定款の意義 16 定款の作成 17 定款の記載・記録事項 18 定款の備置き、閲覧・謄写 19 発起設立 20 募集設立 21 設立登記の手続き 22 設立登記の効力 23 変態設立事項に関する規制(規制の概要) 24 変態設立事項に関する規制(現物出資) 25 変態設立事項に関する規制(財産引受け) 26 変態設立事項に関する規制(発起人の報酬) 27 変態設立事項に関する規制(設立費用) 28 設立無効の意義 29 設立無効原因 30 設立無効の訴えの制度	31 株式の意義等 32 株主の権利・義務 33 株主平等原則 34 株式の譲渡 35 自己株式の取得・処分等の制限 36 子会社による親会社株式の取得 37 株券 38 株主名簿 39 株式担保 40 株式振替制度 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	問題演習を通して、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	問題演習を通して、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 標準原価計算総論 2 標準原価計算の目的 3 標準原価の種類 4 標準原価計算制度の手続 5 製品原価の計算 6 原価差異の計算 7 原価差異の原因分析 8 原価差異の把握方法 9 標準原価計算の記帳方法 10 原価差異の会計処理 11 仕損・減損が生じる場合(終点発生) 12 仕損・減損が生じる場合(始点発生) 13 仕損・減損が生じる場合(途中一定点発生) 14 管理会計の意義 15 財務会計と管理会計の相違 16 管理会計の体系 17 財務情報分析 18 財務情報分析の意義 19 財務情報分析の種類 20 収益性分析 21 投下資本利益率 22 投下資本利益率の分解 23 安全性分析 24 短期財務安全性分析 25 長期財務安全性分析 26 キャッシュフロー分析 27 授業内演習① 28 授業内演習② 29 授業内演習③ 30 授業内演習④	31 材料費会計 32 労務費会計 33 経費会計 34 製造間接費会計 35 部門別計算 36 個別原価計算 37 部門別個別原価計算 38 総合原価計算① 39 総合原価計算② 40 総合原価計算③ 41 総合原価計算④ 42 標準原価計算① 43 標準原価計算② 44 標準原価計算③ 45 授業内演習及び確認テスト 46 計算応用問題(初級編)① 47 計算応用問題(初級編)② 48 計算応用問題(初級編)③ 49 計算応用問題(初級編)④ 50 計算応用問題(初級編)⑤ 51 計算応用問題(初級編)⑥ 52 計算応用問題(初級編)⑦ 53 計算応用問題(初級編)⑧ 54 計算応用問題(初級編)⑨ 55 計算応用問題(初級編)⑩ 56 計算応用問題(初級編)⑪ 57 計算応用問題(初級編)⑫ 58 計算応用問題(初級編)⑬ 59 計算応用問題(初級編)⑭ 60 計算応用問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 リース取引総論 2 オペレーティング・リース 3 所有権移転ファイナンス・リース 4 所有権移転ファイナンス・リース(割安購入選択権) 5 所有権移転外ファイナンス・リース 6 所有権移転外ファイナンス・リース(残価保証) 7 維持管理費相当額 8 リース料の前払い 9 ファイナンス・リース取引(貸手の会計処理①) 10 ファイナンス・リース取引(貸手の会計処理②) 11 ファイナンス・リース取引(貸手の会計処理③) 12 セール・アンド・リースバック取引 13 転リース取引 14 無形固定資産総論 15 のれん 16 研究開発費 17 市場販売目的のソフトウェア 18 自社利用目的のソフトウェア 19 投資その他の資産 20 固定資産の減損総論 21 減損損失の判定と測定 22 将来キャッシュ・フローの見積 23 共用資産の減損 24 のれんの減損 25 繰延資産 26 社債総論 27 買入償還(定額法) 28 買入償還(利息法) 29 巻末総合問題演習① 30 巻末総合問題演習②	31 通常の販売目的で保有する棚卸資産 32 トレーディング目的で保有する棚卸資産 33 売価還元法と最終仕入原価法 34 固定資産の取得原価の決定 35 資本的支出と収益的支出 36 減価償却 37 個別償却と総合償却 38 減耗償却と取替法 39 圧縮記帳 40 株式交付費 41 社債発行費等 42 創立費 43 開業費 44 開発費 45 支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理 46 確定給付企業年金制度(一連の会計処理) 47 確定給付企業年金制度(従業員拠出) 48 確定給付企業年金制度(数理計算上の差異) 49 確定給付企業年金制度(過去勤務費用) 50 確定給付企業年金制度(年金資産の返還) 51 確定給付企業年金制度(退職給付信託) 52 確定拠出企業年金制度 53 退職給付制度の終了 54 資産除去債務総論 55 見積りの変更(見積額が増加する場合) 56 見積りの変更(見積額が増加する場合) 57 資産除去債務の算定(最頻値法・期待値法) 58 資産除去債務が複数の資産から構成される場合 59 巻末総合問題演習① 60 巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	監査論		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	80単位時間		
授業コマ数	40コマ		
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る		
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	財務諸表監査総論	31 監査に係る予備的な活動 意義
	2	意見表明の対象である財務諸表	32 監査に係る予備的な活動 何を検討するのか
	3	監査主体論、監査基準論	33 監査に係る予備的な活動 検討の結果
	4	監査人	34 監査計画の定義
	5	職業倫理(監査人に要求される条件)	35 監査計画の分類
	6	専門能力及び知識	36 監査証拠の入手方法
	7	主要勘定と帳簿、証拠等の例	37 監査サンプリング
	8	アサーション	38 重要性の定義
	9	監査技術 監査証拠	39 監査上の重要性が用いられる場面
	10	監査技術 閲覧	40 重要な虚偽表示か否かの判断
	11	監査技術 帳簿突合	41
	12	監査技術 証憑突合	42
	13	監査技術 実査	43
	14	監査技術 観察	44
	15	監査技術 再計算	45
	16	監査技術 再実施	46
	17	監査技術 質問	47
	18	監査技術 年齢調べ	48
	19	監査技術 棚卸資産に対する手続	49
	20	監査技術 確認	50
	21	監査技術 分析的手続	51
	22	監査技術 経営者確認書	52
	23	リスク・アプローチ	53
	24	監査リスク	54
	25	リスク評価手続の全体像	55
	26	リスク・アプローチとの関係	56
	27	監査とIT	57
	28	ITの特徴①	58
	29	ITの特徴②	59
	30	監査に係る予備的な活動 契約の締結まで	60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	租税法		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	80単位時間		
授業コマ数	40コマ		
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	法人税法総則・課税標準	31 記述式基礎問題(初級編)①
	2	交際費等の損金不算入(概要・計算構造)	32 記述式基礎問題(初級編)②
	3	減価償却(普通償却)	33 記述式基礎問題(初級編)③
	4	租税公課及び納税充当金	34 記述式基礎問題(初級編)④
	5	受取配当等の益金不算入	35 記述式基礎問題(初級編)⑤
	6	繰延資産(概要)	36 記述式基礎問題(初級編)⑥
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損	37 記述式基礎問題(初級編)⑦
	8	有価証券	38 記述式基礎問題(初級編)⑧
	9	所得税額控除(原則法)	39 記述式基礎問題(初級編)⑨
	10	寄附金の損金不算入	40 記述式基礎問題(初級編)⑩
	11	減価償却(特別償却・概要)	41
	12	特別償却準備金	42
	13	リース取引	43
	14	評価損益	44
	15	講義内演習・確認テスト	45
	16	所得税法の概要	46
	17	各種所得と各種所得の金額の計算(総測)	47
	18	減価償却	48
	19	課税標準・課税所得金額の計算	49
	20	所得控除額の計算	50
	21	納税税額の計算(総則)	51
	22	申告・納付	52
	23	源泉徴収	53
	24	有価証券に係る課税の特例	54
	25	消費税法の概要	55
	26	課税の対象	56
	27	非課税	57
	28	輸出免税等	58
	29	課税標準	59
	30	講義内演習・確認テスト	60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	会計学		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	80単位時間		
授業コマ数	40コマ		
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	外貨建会計①	31 消費税法⑥
	2	外貨建会計②	32 消費税法⑦
	3	外貨建会計③	33 消費税法⑧
	4	外貨建会計④	34 消費税法⑨
	5	リース取引①	35 消費税法⑩
	6	リース取引②	36 法人税法①
	7	リース取引③	37 法人税法②
	8	リース取引④	38 法人税法③
	9	キャッシュ・フロー計算書①	39 法人税法④
	10	キャッシュ・フロー計算書②	40 法人税法⑤
	11	キャッシュ・フロー計算書③	41
	12	キャッシュ・フロー計算書④	42
	13	キャッシュ・フロー計算書⑤	43
	14	キャッシュ・フロー計算書⑥	44
	15	税効果会計①	45
	16	税効果会計②	46
	17	税効果会計③	47
	18	税効果会計④	48
	19	税効果会計⑤	49
	20	税効果会計⑥	50
	21	退職給付会計①	51
	22	退職給付会計②	52
	23	退職給付会計③	53
	24	退職給付会計④	54
	25	退職給付会計⑤	55
	26	消費税法①	56
	27	消費税法②	57
	28	消費税法③	58
	29	消費税法④	59
	30	消費税法⑤	60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	経営学		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	80単位時間		
授業コマ数	40コマ		
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る		
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	バランスト・スコアカード(BSC)	31 記述式応用問題(中級編)①
	2	デリバティブ	32 記述式応用問題(中級編)②
	3	先物取引	33 記述式応用問題(中級編)③
	4	オプション取引	34 記述式応用問題(中級編)④
	5	オプション取引を用いたポートフォリオ(オプションの合成)	35 記述式応用問題(中級編)⑤
	6	金利オプション	36 記述式応用問題(中級編)⑥
	7	スワップ取引	37 記述式応用問題(中級編)⑦
	8	テイラーの科学的管理法	38 記述式応用問題(中級編)⑧
	9	ファヨールの管理論	39 記述式応用問題(中級編)⑨
	10	人間関係論と近代モチベーション論	40 記述式応用問題(中級編)⑩
	11	バーナード理論	41
	12	サイモン、マーチの理論	42
	13	管理原則論	43
	14	組織構造論(各論)	44
	15	組織文化論	45
	16	動機づけ理論	46
	17	リーダーシップ理論	47
	18	経営戦略論の基礎概念	48
	19	ドメイン戦略	49
	20	多角化戦略	50
	21	垂直統合戦略	51
	22	国際化戦略の基礎概念	52
	23	多国籍企業に関する諸論点	53
	24	ポーターの競争戦略論	54
	25	デファクト・スタンダード	55
	26	戦略展開方式の分類	56
	27	研究開発(R&D)	57
	28	合併・買収(M&A)	58
	29	企業提携	59
	30	選択と集中	60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	公認会計士総合演習 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	80 単位時間		
授業コマ数	40 コマ		
授業概要	模擬試験形式による効果測定		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める		
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)①	31 財務会計(計算) 択一式応用問題(中級編)①
	2	財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)①	32 財務会計(理論) 択一式応用問題(中級編)①
	3	管理会計 択一式応用問題(初級編)①	33 管理会計 択一式応用問題(中級編)①
	4	企業法 択一式応用問題(初級編)①	34 企業法 択一式応用問題(中級編)①
	5	監査論 択一式応用問題(初級編)①	35 監査論 択一式応用問題(中級編)①
	6	財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)②	36 財務会計(計算) 択一式応用問題(中級編)②
	7	財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)②	37 財務会計(理論) 択一式応用問題(中級編)②
	8	管理会計 択一式応用問題(初級編)②	38 管理会計 択一式応用問題(中級編)②
	9	企業法 択一式応用問題(初級編)②	39 企業法 択一式応用問題(中級編)②
	10	監査論 択一式応用問題(初級編)②	40 監査論 択一式応用問題(中級編)②
	11	財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)③	41
	12	財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)③	42
	13	管理会計 択一式応用問題(初級編)③	43
	14	企業法 択一式応用問題(初級編)③	44
	15	監査論 択一式応用問題(初級編)③	45
	16	財務会計(計算) 択一式総合問題(初級編)①	46
	17	財務会計(理論) 択一式総合問題(初級編)①	47
	18	管理会計 択一式総合問題(初級編)①	48
	19	企業法 択一式総合問題(初級編)①	49
	20	監査論 択一式総合問題(初級編)①	50
	21	財務会計(計算) 択一式総合問題(初級編)②	51
	22	財務会計(理論) 択一式総合問題(初級編)②	52
	23	管理会計 択一式総合問題(初級編)②	53
	24	企業法 択一式総合問題(初級編)②	54
	25	監査論 択一式総合問題(初級編)②	55
	26	財務会計(計算) 択一式総合問題(初級編)③	56
	27	財務会計(理論) 択一式総合問題(初級編)③	57
	28	管理会計 択一式総合問題(初級編)③	58
	29	企業法 択一式総合問題(初級編)③	59
	30	監査論 択一式総合問題(初級編)③	60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	公認会計士総合演習Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	80単位時間		
授業コマ数	40コマ		
授業概要	模擬試験形式による効果測定		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める		
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	財務会計(計算) 択一式応用問題(中級編)③	31 財務会計(計算) 択一式応用問題(上級編)③
	2	財務会計(理論) 択一式応用問題(中級編)③	32 財務会計(理論) 択一式応用問題(上級編)③
	3	管理会計 択一式応用問題(中級編)③	33 管理会計 択一式応用問題(上級編)③
	4	企業法 択一式応用問題(中級編)③	34 企業法 択一式応用問題(上級編)③
	5	監査論 択一式応用問題(中級編)③	35 監査論 択一式応用問題(上級編)③
	6	財務会計(計算) 択一式総合問題(中級編)①	36 財務会計(計算) 択一式総合問題(上級編)①
	7	財務会計(理論) 択一式総合問題(中級編)①	37 財務会計(理論) 択一式総合問題(上級編)①
	8	管理会計 択一式総合問題(中級編)①	38 管理会計 択一式総合問題(上級編)①
	9	企業法 択一式総合問題(中級編)①	39 企業法 択一式総合問題(上級編)①
	10	監査論 択一式総合問題(中級編)①	40 監査論 択一式総合問題(上級編)①
	11	財務会計(計算) 択一式総合問題(中級編)②	41
	12	財務会計(理論) 択一式総合問題(中級編)②	42
	13	管理会計 択一式総合問題(中級編)②	43
	14	企業法 択一式総合問題(中級編)②	44
	15	監査論 択一式総合問題(中級編)②	45
	16	財務会計(計算) 択一式総合問題(中級編)③	46
	17	財務会計(理論) 択一式総合問題(中級編)③	47
	18	管理会計 択一式総合問題(中級編)③	48
	19	企業法 択一式総合問題(中級編)③	49
	20	監査論 択一式総合問題(中級編)③	50
	21	財務会計(計算) 択一式応用問題(上級編)①	51
	22	財務会計(理論) 択一式応用問題(上級編)①	52
	23	管理会計 択一式応用問題(上級編)①	53
	24	企業法 択一式応用問題(上級編)①	54
	25	監査論 択一式応用問題(上級編)①	55
	26	財務会計(計算) 択一式応用問題(上級編)②	56
	27	財務会計(理論) 択一式応用問題(上級編)②	57
	28	管理会計 択一式応用問題(上級編)②	58
	29	企業法 択一式応用問題(上級編)②	59
	30	監査論 択一式応用問題(上級編)②	60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			